

倉吉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン(骨子案)

人口の現状と将来の姿を示し、人口問題に関する市民の基本認識の共有を目指すとともに、今後、倉吉市の目指すべき方向と人口の将来展望を提示

1 倉吉市における人口の現状と将来展望

(1) 本格的な人口減少時代に入

- ◆1985年の57,000人をピークに減少、1992年以降は自然減となっており、すでに本格的な人口減少時代に入(2015年:49,000人)
- ◆地域によっては状況が異なり、人口が減少している地域が大半であるが、都市部では人口が増加し、中山間地は大きく減少
- ◆2015年の高齢化率は30%を超え現在も増加しているが、今後10年を目途に老年人口も減少し、全階層の減少時代となる

(2) 安定した出生数

- ◆2013年の合計特殊出生率は1.75と全国及び県平均を上回り、近年最も低かった2002年の1.46から向上
- ◆出生数は2010年に400人を割り込んだが、翌年には462人に回復し400人程度で推移

(3) 進学・就職時の転出と自然減

- ◆社会増減については、1986年までは転入が超過し、その後は転出が超過する社会減の状態が継続
- ◆特に、大学等の進学や就職を機に転出する18~26歳において著しく転出超過
- ◆近年の転出超過は減少傾向にあるものの、高齢化による自然減は社会減を上回り今後さらに加速見込

(4) 将来推計人口

- ◆国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、2010年の約50,700人の人口は、**今後急速に減少を続け、2040年には、約37,000人(約27.0%減少)となる見込み**
- ◆15~64歳の生産年齢人口は、その構成比が58.9%から50.8%に減少し、65歳以上の高齢者人口は28.2%から38.5%へと増加する見込み

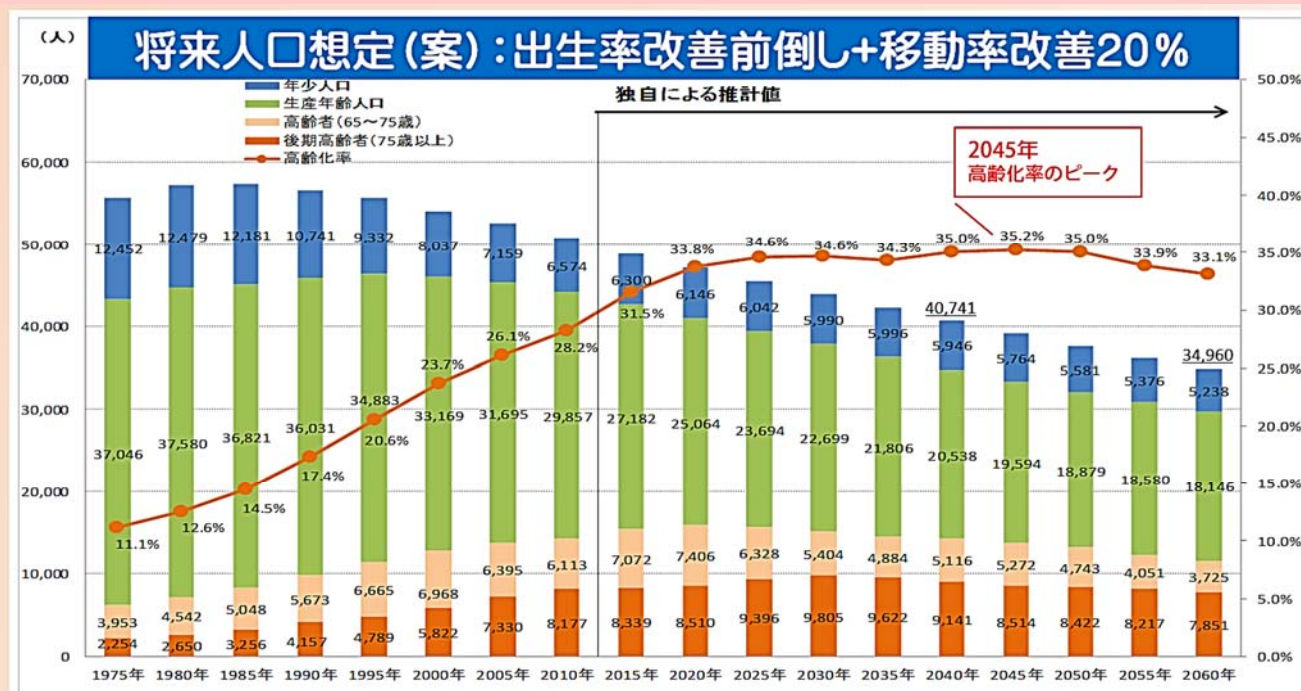
2 倉吉市の目指すべき将来の方向

(1) 国における人口目標設定の考え方

- ◆将来にわたって「活力ある日本社会」を維持するためには、人口減少に歯止めをかける必要
- ◆結婚や出産に関する国民の希望が実現すると、出生率は1.8程度に改善
- ◆2020年に出生率1.6、2030年に1.8、2040年に2.07が達成されれば、50年後の2060年には1億人程度の人口が確保され、その後2090年頃には人口が安定していくと推計

(2) 倉吉市における人口目標

- ◆2013年実績の合計特殊出生率1.75を2020年には1.8、2030年に2.1へすることで、**2040年まで出生数を400人維持し、さらに社会減を20%改善することにより、2040年の倉吉市人口40,000人を確保し、2060年には35,000人を維持する。**



倉吉市まち・ひと・しごと創生総合戦略(骨子案)

平成27年7月14日
議員懇談会資料
企画振興部総合政策課

~次代の地域産業を担う「人財」(地域の宝である人材)を育成~

資料1

1 策定基本姿勢

倉吉ならではの地方創生は、まち・ひと・しごとを呼び込む取組みと同時に、最も重要な地域資源である倉吉の“人”を生業にわたり、持続的に支え育成していく。その人材が活躍する場を創出することで、未来に希望を持って、いきいきとした地域の創生に向けた取組みとする。

「人財の育み」を総合戦略の全てに共通する視点に据え、世代を超えて倉吉で暮らし続けたい、暮らししてみたいと実感できる取組みを行う

2 施策検討・実施の方針

(1) 人を大事にし、志を育てる

- 制度、政策や市民の意識が速やかに変われば、「人口減少社会」への流れは抑制できる。
- 出会いから子育てまで切れ目ない支援により、希望すれば結婚し安心して子どもを産み育てることができるよう集中させる。
- ふるさとに愛着と誇りをもってもらうため、生涯にわたり人を育て、人を支える社会の構築により、価値観の共有を育む

(2) 仕事をつくり、人を呼び、また仕事を呼ぶ

- 18~26歳の学生や働く若い世代が一度流出した以降に戻ってこないことが社会減の大きな要素
- 地域産業構造の強化とアイデアが実現できる地域を目指し、若者に魅力のある職場を創出
- U I Jターンの移住・定住の促進により人の流れを変えていく
- 自然・文化・芸術・スポーツ等の地域資源を活用した観光振興による交流人口の拡大

(3) 地域を守り、地域の資源を活力に変える

- 少子高齢化や人口減少社会における地域コミュニティの衰退や弱体化が危惧される。
- やむを得ず縮小していく社会に対応するため、地域や行政が“賢く縮む”ことにより時代に合った活力ある地域づくりと安心の暮らしを守る。
- 地域の特色を活かした活力ある地域づくり、賑わいの創出
- 中山間地域の新たな産業創出による地域振興
- 住み慣れた地域の中で安心して暮らすことのできるコミュニティの維持

(4) 取組・推進体制

- 倉吉市未来いきいき創生本部を設置
- 産業界・教育機関・金融機関・地域団体・労働団体・メディア等を構成員とする有識者会議の開催や、アンケート、市民・団体対話集会等を実施
- 数値目標を設定することで客観的に検証可能なPDCAサイクルによる推進体制を構築

倉吉市まち・ひと・しごと創生総合戦略(骨子案)

～次代の地域産業を担う「人財」(地域の宝である人材)を育成～

3 主要な施策の柱建てと施策例

●新たな取組への挑戦と既存の取組の更なるブラッシュアップ

(1) 人口保持(人口の減少に歯止めをかける取組み)

◆子育て世代の負担軽減など、安心した子育て環境の提供

- ・不妊・不育症治療に要する医療費助成事業
- ・出産後の育児不安の軽減を図る産後ケアサポート事業
- ・子育て家庭を地域で支えるファミリーサポート推進事業
- ・第3子以降の保育料無償化事業
- ・病児・病後児に加え市内民間保育園と連携した夜間保育検討事業
- ・高校生までを対象とした特別医療費助成事業
- ・ショッピングセンター内に雨天でも子育て世代が集える遊戯スペース整備事業

◆出会いの機会を強化し、子どもを持つ喜びを感じられる取組みを推進

- ・マッチングと結婚観・家庭観を押し広げるライフサポーター養成・設置事業
- ・広域的な結婚活動支援事業
- ・出会い力・女子力・男子力アップスクール事業

◆移住希望者へ魅力を伝え、あたたかく迎え入れる体制を推進

- ・窓口の移住相談員・地域内の移住コーディネーター配置事業
- ・田舎暮らし体験ツアー・お試し住宅設置事業
- ・市有地分譲・売却促進事業
- ・空き家ストック活用促進事業

(2) 経済の成長・発展(雇用を確保し若者を中心に市内に定着)

◆安定した雇用基盤の整備

- ・圏域の地域経済の活性化及び雇用機会の拡大を図る企業支援事業
- ・ハローワークと連携した市役所でも閲覧可能な就業情報発信事業
- ・f-Bizの協力による相談会と相談のレベルアップを図る経営相談等推進事業
- ・成長産業の起業や事業継承を助言・支援を行う「地方創生ファンド」推進事業
- ・県内外の高度なスキルを持った人材や優秀な学生と市内企業のマッチングを図る企業人材確保支援事業
- ・高齢者が住みよい街日本一のシルバービジネスの促進事業
- ・地元大学と連携した修学から雇用まで一貫した医療・介護人材の育成・確保事業

◆80歳まで稼げる農林水産業の推進

- ・6次産業化に向けた推進員による商品開発支援や異業種連携創出事業
- ・地域の特産品の拡大に向けた新商品(梨、スイカ、イチゴ等)の生産拡大事業
- ・海外も含めた戦略的な販路拡大促進事業
- ・優れた地元食材の周知と活用を図る「食」のブランド力開発事業
- ・ファーマーズマーケット整備などマーケティング強化と販路拡大の推進事業
- ・ギンザケ養殖、薬用作物、竹活用、バイオマスエネルギー創出など中山間地産業の活性化事業
- ・60歳からの農業の担い手を支援する篤農家技術指導や定年帰農者支援事業
- ・ICT活用による有害鳥獣総合対策事業とジビエ販売先確保支援事業

◆にぎわい創出と観光業の振興

- ・伝統的建造物群保存地区内の観光拠点施設整備事業
- ・白壁土蔵群内の空き店舗のリノベーションを活用したカフェ・旅館等整備事業
- ・歴史や町並み活用したストーリー性のある観光商品造成事業
- ・とっとり梨の花温泉郷広域観光協議会と連携した広域観光施策推進事業
- ・コンベンション等誘致支援やスポーツコンベンションプログラム開発事業
- ・オリンピック会場の「芝」活用検討事業
- ・誘致企業と連携したポップカルチャーによる観光客等誘致促進事業
- ・外国人観光客に対応したwi-fi環境整備事業

(3) 人の活躍(年齢、性別に関わらず能力の発揮)

◆子どもたちがどこに行っても自慢したくなる、倉吉の愛着と誇りづくりを推進

- ・地域との共催による、「倉吉大好き!ふるさと学習」創造事業
- ・自然の中で遊び学ぶ体験型教育の拠点整備と推進事業
- ・落ち着いた学習環境を提供するため、SC、SSWR、教員補助員配置事業
- ・小学校と中学校が緊密に連携・協働して進める小中連携教育推進事業

◆自ら志を持ち、アイデアを実現し地域に貢献できる人材教育

- ・地元の第一線で活躍する人や企業によるキャリア教育推進事業
- ・国際化に対応したICTや外国語を充実する教育支援員配置事業
- ・学生時の資格取得や留学等の自己研鑽を応援する夢チャレンジ支援事業
- ・地元学生と地域住民のイベント支援や交流拠点整備事業
- ・女性の多様な就労機会を創出するセミナー開催や就業体験事業
- ・障がい者ワークセンター(仮)・交流サロンの設置事業
- ・地元大学、経済界、自治体が連携する人材育成プログラム推進事業

◆退職後からでも稼げるビジネスを創出し、地域の担い手と活力に貢献

- ・大学、企業、団体、地域、行政が連携し「農業」「観光」「介護福祉」「店舗経営」「地域づくり」など学びの場の提供事業
- ・定年時に農家の担い手を確保する定年帰農者総合対策事業
- ・農家インターンシップと作業ボランティアマッチング事業

(4) 地域づくり(維持、活性化、個性を活かした地域戦略)

◆人が集い魅力ある地域づくり

- ・都市住民との交流と県内の子どもの地域学習の場として農家民泊と農業体験の受入拠点整備事業
- ・倉吉駅前ファーマーズマーケット整備事業
- ・空き店舗等を活用したチャレンジショップ拡充事業
- ・女性向けコミュニティ施設兼食料品販売施設整備事業
- ・地域住民学生向けテナントビル整備事業
- ・20時以降に倉吉駅～西倉吉間を運行する夜間時間帯バス運行事業
- ・健康・介護と連携した「新湯治」関金温泉モデルの構築事業
- ・関金温泉旧老舗旅館活用プロジェクト事業
- ・ウォーキングコースと観光基盤整備事業
- ・観光駐車場から白壁土蔵群への回遊動線整備事業

◆高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境づくり

- ・市と地元大学が地域づくりのプロを認定するコミュニティ診断士(仮)養成事業
- ・地域おこし協力隊・集落支援員配置事業
- ・地域の絆を高める協働のまちづくり活動助成事業
- ・市民防災力の強化・向上につなげる自主防災組織促進事業
- ・検診受診率の向上と健康意識の改善に取り組む看護大学まちの保健室推進事業
- ・ケーブルテレビ網のICTを活用した見守りシステム整備事業

(5) 信頼の行政(市民と行政の信頼に基づく行政改革)

◆税収減に対応する公共サービスの効率化・行政コストのスマート化

◆公共施設・インフラの戦略的な維持管理・更新等の推進

◆地域から頼られ「昨日の仕事」より「明日の仕事」ができる職員育成

◆市民の意向を反映し市民のための広報広聴活動の効果的な推進